

第 37 回 J I A 東海支部設計競技・応募要項

日本建築家協会東海支部が主催する「建築設計競技」は、最も伝統ある事業のひとつとして 1984 年に第 1 回が開催され、2021 年で 37 回目を数えます。

今日、社会はあらゆる局面における情報化の進展に伴い加速的に変化し続けています。2011 年に発生した東日本大震災は人々の社会に対する意識・行動に顕著な変化をもたらしました。また格差、貧困問題等の広がりが、生きづらい社会をつくりつつもあります。2020 年初頭からは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、人々の暮らしは一変し、「新たな生活様式」を余儀なくされています。

この設計競技は、このような複雑かつ不安定な社会において、住まう空間の多様なあり方と可能性を問うものです。



血のつながらない家族の家

2021年3月17日、札幌地裁は、同性同士の法律婚を認めないのは憲法違反であるという判決を下した。

憲法第14条1項の「すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」という規定に反するものだが、その一方で、「婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない」と定めた憲法第24条との関係については、「異性婚について定めたもので、同性婚に関して定めたものではない」として退けられた。

さて、われわれは今まで住宅を設計するとき、そこに住まうひとや家族を、異性間の夫婦とその血のつながった実子だと信じて疑わず、住宅での家族像はそういうものだととして盲目的に設計してこなかっただろうか？

そもそも異性間で結婚した夫婦そのものは「血のつながらない家族」なのだが、その二人に実子ができた瞬間から血縁が生まれ、「血のつながった家族」となるが、そのことは戸籍制度や夫婦別姓の問題と表裏一体でもある。

一方、LGBTなどのカップルと血のつながらない養子による「血のつながらない家族」はすでにたくさん存在しているにも関わらず、そんな「家族」のための住宅をわれわれはイメージできていたのだろうか？

そしてその「家族」のための住宅は、今までわれわれが思い描いていた建築や空間でも満たすことができてしまうのか、あるいはそうではないのだろうか？

家と家族、法律や制度、血縁と他人との関係性や距離などに思いを馳せ、その「血のつながらない家族」のための住宅を見せてほしい。

文：武藤 隆（審査員長）

【応募要綱】

1. 表現方法

①プレゼンシート

用紙の大きさはA2判（420mm×594mm）とします。

着色など、表現上の制約はありません。

各自の提案内容に沿って自由に提案してください。

※計画地、計画面積、家族形態、生活様式等の制限はありません。

また独立住宅、集合住宅、その他の居住形態の制限もありません。

- ・用紙は縦使い、または横使いとし、1枚（片面）にまとめてください。
- ・パネルなど巻けないものは不可とします。また模型などは受付しません。
- ・プレゼンシートには氏名や暗号等目印となるものの記入は認めません。

②プレゼンシートのデータ：PDF形式

- ・データの保存名称には、作品名を記してください。
- ・データはUSBメモリまたはCD-Rで提出してください。
- ・ケースまたは盤面に作品タイトル、氏名を明記してください。

2. 応募資格

応募資格についての制限はありません。

3. 応募方法

専用の申込用紙に必要事項を記入の上、プレゼンシートとデータ（PDF形式）とともに設計競技事務局に提出してください。

プレゼンシートは、折ったり丸めたりしないでください。

申込用紙は、プレゼンシートに貼り付けないでください。

（申込用紙はJIA 東海支部・設計競技 Web サイトよりダウンロードできます）

4. 応募締切

2021年10月22日（金）当日消印有効。

5. 提出先

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の26 昭和ビル5階

（公社）日本建築家協会東海支部内 設計競技事務局 TEL：052-263-4636

6. 審査員（順不同・敬称略）

審査員長	武藤 隆（大同大学／武藤隆建築研究所）
ゲスト審査員	中川 エリカ（中川エリカ建築設計事務所）
審査員	道家 洋（道家洋建築設計事務所／JIA会員）
	東福 大輔（零三工作室／JIA会員）
	能勢 陽子（豊田市美術館学芸員）
	槇本 雅好（相山女学園大学）

7. 審査・入賞者発表

①審査方法

1次審査会で、入賞者（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名）を選出します。

上位6名（金賞候補1名、銀賞候補2名、銅賞候補3名）が2次公開審査会に進み、奨励賞 若干名、ゲスト審査員特別賞 若干名は表彰式への参加となります。

2次公開審査会のプレゼンはパワーポイントで行うこととします。

②1次審査会

日時：2021年10月30日（土）

1次審査通過者には11月上旬に通知予定です。

③2次公開審査会・表彰式・記念講演会

日時：2021年11月20日（土）

会場・その他 詳細については11月上旬にWebサイトにて公表予定です。

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、リモート審査になる可能性があります。

8. 表彰

①表彰

・金賞	1点	賞状、商品券 10万円、記念品
・銀賞	2点	賞状、商品券 5万円、記念品
・銅賞	3点	賞状、商品券 3万円、記念品
・奨励賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品
・ゲスト審査員特別賞	若干名	賞状、商品券 1万円、記念品

②発表

12月中旬頃 Web サイトにて公開します。

入賞者には主催者から直接連絡致します。

入賞者の発表は、主催団体のホームページ及び会誌で発表予定です。

9. 著作権

表彰作品の著作権は入賞者に属する。但し、主催団体がこの事業の趣旨にもとづいて、入賞作品を会誌・ホームページに掲載、図書出版または展示のために用いる場合、入賞者はこの使用を無償で認めるものとします。

10. その他

① 質疑応答は行いません。

② 入賞作品及び最終選考に残った作品以外の作品で返却希望者には、審査結果発表後2週間以内であれば返却します。ただし、設計競技事務局での直接受け取りに限り返却します。郵送での返却は行いません。

③ 過去入賞作品の公開

設計競技 Web 上で 第 21 回～第 36 回までの入賞作品を公開しています。

URL <http://www.jia-tokai.org/competition/top.htm>

④ 「2 次公開審査会・表彰式・記念講演会」のご案内

日時：2021 年 11 月 20 日（土）

会場：未定

当日のタイムスケジュール：未定

（参考）第 36 回設計競技のタイムスケジュール例

作品展示	12 : 00～17 : 30
プレゼン（6名）	12 : 30～14 : 10
休憩	14 : 10～14 : 20
公開審査	14 : 20～15 : 00
学生賞・ゲスト審査員賞講評	15 : 00～15 : 40
表彰式	15 : 40～15 : 50
休憩	15 : 50～16 : 00
記念講演会	16 : 00～17 : 00



⑤講師：中川エリカ（中川エリカ建築設計事務所代表）

<プロフィール> 中川エリカ建築設計事務所ホームページより

1983年 東京都出身

2005年 横浜国立大学卒業

2007年 東京藝術大学大学院修了

2007-2014年 オンデザイン勤務

2012年 JIA 新人賞受賞

2012年 横浜国立大学非常勤講師

2014年 中川エリカ建築設計事務所設立

2014-2016年 横浜国立大学大学院 Y-GSA 設計助手

2016年 第15回ヴェネツィアビエンナーレ国際建築展 国別部門 特別表彰

2017年 住宅建築賞 2017 金賞

2017年 日本女子大学非常勤講師

2018年 第34回吉岡賞受賞

現在- 東京藝術大学、横浜国立大学、法政大学、芝浦工業大学、日本大学非常勤講師

⑥問い合わせ先

設計競技事務局

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄四丁目3の26 昭和ビル5階

(公社) 日本建築家協会東海支部内

TEL : 052-263-4636 FAX : 052-251-8495 URL <http://www.jia-tokai.org/>

主催：公益社団法人日本建築家協会東海支部

後援：一般社団法人日本建築学会東海支部

2021年6月23日 作成